

■日時：11月27日(水) 9:00～9:40

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 001 検査・相談 1

座長 川畑拓也

(地独) 大阪健康安全基盤研究所 微生物部ウイルス課

本間隆之

(山梨県立大学看護学部)

### 001-001 ダイナスクリーン・HIV Combo 抗原偽陽性事例の検討

川畑拓也<sup>1)</sup>、砂山智子<sup>2)</sup>、山田香保理<sup>3)</sup>、  
森川哲也<sup>4)</sup>、阪野文哉<sup>1)</sup>、森 治代<sup>1)</sup>

1) (地独) 大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課

2) アリーア メディカル株式会社 感染症領域マーケティング部

3) アリーア メディカル株式会社 テクニカル部

4) アリーア メディカル株式会社 品質システム部

### 001-002 IC 法の確認検査としての Geenius HIV1/2 キットの有用性の検討

貞升健志<sup>1)</sup>、長島真美<sup>1)</sup>、北村有里恵<sup>1)</sup>、  
熊谷遼太<sup>1)</sup>、松岡佐織<sup>2)</sup>、今村顕史<sup>3)</sup>、  
新開敬行<sup>1)</sup>、千葉隆司<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>1)</sup>

1) 東京都健康安全研究センター微生物部

2) 国立感染症研究所

3) 東京都立駒込病院

### 001-003 全国から弊社に依頼された HIV 検査の集計結果 ～2003年～2018年～

渡辺薫子、斎藤絵馬、飯田慶治、速永 淳

株式会社エスアールエル 感染免疫部

### 001-004 HIV 郵送検査に関する実態調査(2018)

須藤弘二<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>2)</sup>、  
今井光信<sup>3)</sup>、今村顕史<sup>4)</sup>、加藤真吾<sup>1)</sup>

1) 株式会社ハナ・メディテック

2) 神奈川県衛生研究所 微生物部

3) 田園調布学園大学

4) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

■日時：11月27日(水) 9:40～10:30

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 002 検査・相談 2

座長 岩橋恒太

(特定非営利活動法人 akta)

貞升健志

(東京都健康安全研究センター微生物部)

### 002-005 保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査

土屋菜歩<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>2)</sup>、  
カエベタ亜矢<sup>3)</sup>、関なおみ<sup>4)</sup>、城所敏英<sup>5)</sup>、  
根岸 潤<sup>6)</sup>、堅多敦子<sup>7)</sup>、川畑拓也<sup>8)</sup>、  
貞升健志<sup>9)</sup>、須藤弘二<sup>10)</sup>、加藤真吾<sup>10)</sup>、  
大木幸子<sup>11)</sup>、生島 嗣<sup>12)</sup>、今井光信<sup>13)</sup>、  
今村顕史<sup>7)</sup>

1) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構

2) 神奈川県衛生研究所

3) 新宿区保健所

4) 豊島区池袋保健所

5) 東京都南新宿検査・相談室

6) 東京都福祉保健局

7) がん・感染症センター都立駒込病院

8) 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所

9) 東京都健康安全研究センター微生物部

10) 慶應義塾大学医学部

11) 杏林大学保健学部

12) 特定非営利活動法人 ぶれいす東京

13) 田園調布学園大学

### 002-006 東京都南新宿検査・相談室における HIV 検査相談の取り組みについて～3年間(2016年～2018年)における受検者へのカウンセリングの推移から今後の課題を検討する～

矢永由里子<sup>1,2)</sup>、今井朋実<sup>1)</sup>、川畑貴子<sup>1)</sup>、  
小沼和広<sup>1)</sup>、櫻井具子<sup>1,3)</sup>、角田洋隆<sup>1)</sup>、  
宮腰辰男<sup>1)</sup>、城所敏英<sup>1)</sup>

1) 東京都南新宿検査・相談室

2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター

3) 遠藤嗜癩問題相談室

## 002-007 MSM に向けた HIV 検査相談会「快速あ んしん検査上野駅」3年間の取り組み

本間隆之<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>2)</sup>、生島 嗣<sup>3)</sup>、  
貞升健志<sup>4)</sup>、長島真美<sup>4)</sup>、市川誠一<sup>5)</sup>、  
今村顕史<sup>6)</sup>

- 1) 山梨県立大学看護学部
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 4) 東京都健康安全研究センター
- 5) 金城学院大学
- 6) 東京都立駒込病院

## 002-008 健診機会を利用した HIV・梅毒検査提供 に向けた検討

川畑拓也<sup>1)</sup>、上原大知<sup>2)</sup>、伊禮之直<sup>2)</sup>、  
真柴田哲<sup>2)</sup>、崎原永辰<sup>2)</sup>、仲宗根正<sup>3)</sup>、  
仁平 稔<sup>4)</sup>、久高 潤<sup>5)</sup>、渡邊 大<sup>6)</sup>、  
大森亮介<sup>7)</sup>、駒野 淳<sup>8)</sup>、阪野文哉<sup>1)</sup>、  
小島洋子<sup>1)</sup>、森 治代<sup>1)</sup>、本村和嗣<sup>1)</sup>

- 1) (地独) 大阪健康安全基盤研究所
- 2) 那覇市医師会生活習慣病検診センター
- 3) 那覇市保健所
- 4) 沖縄県衛生環境研究所
- 5) 沖縄県保健医療部地域保健課
- 6) (独) 国立病院機構 大阪医療センター
- 7) 国立大学法人北海道大学
- 8) 大阪薬科大学

## 002-009 保健所・検査所における梅毒検査実施状 況および陽性率に関するアンケート調査

土屋菜歩<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>2)</sup>、  
カエベタ亜矢<sup>3)</sup>、関なおみ<sup>4)</sup>、城所敏英<sup>5)</sup>、  
根岸 潤<sup>6)</sup>、堅多敦子<sup>7)</sup>、川畑拓也<sup>8)</sup>、  
貞升健志<sup>9)</sup>、須藤弘二<sup>10)</sup>、加藤真吾<sup>10)</sup>、  
大木幸子<sup>11)</sup>、生島 嗣<sup>12)</sup>、今井光信<sup>13)</sup>、  
今村顕史<sup>7)</sup>

- 1) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 2) 神奈川県衛生研究所
- 3) 新宿区保健所
- 4) 豊島区池袋保健所
- 5) 東京都南新宿検査・相談室
- 6) 東京都福祉保健局
- 7) がん・感染症センター都立駒込病院
- 8) 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所
- 9) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 10) 慶應義塾大学医学部
- 11) 杏林大学保健学部
- 12) 特定非営利活動法人 ぶれいす東京
- 13) 田園調布学園大学

■日時：11月27日(水) 10:30～11:20

■会場：第3会場

(熊本城ホール3F 大会議室 A4)

## 003 抗 HIV 療法 1

座長 井門敬子

(愛媛大学医学部附属病院 薬剤部)

中田浩智

(熊本大学病院 血液・膠原病・感染症内科)

## 003-010 DTG/ABC/3TC から DTG+3TC への 2 剤レジメンへの変更の経験

藤井輝久<sup>1,2)</sup>、山崎尚也<sup>1)</sup>、井上暢子<sup>1)</sup>、  
柿本聖樹<sup>3)</sup>、石井聡一郎<sup>4)</sup>、畝井浩子<sup>4)</sup>、  
齋藤誠司<sup>5)</sup>

- 1) 広島大学病院輸血部
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院総合診療科
- 4) 広島大学病院薬剤部
- 5) 国立病院機構福山医療センター広島県東部地区エイズ治療センター

## 003-011 ワルファリン服用患者におけるダルナビル / リトナビルからラルテグラビルに変更した際のワルファリン投与量と PT(INR) の推移

尾崎淳子<sup>1)</sup>、松村勝之<sup>1)</sup>、櫻井香織<sup>1)</sup>、  
米澤 淳<sup>1)</sup>、白川康太郎<sup>2)</sup>、高折晃史<sup>2)</sup>、  
松原和夫<sup>1)</sup>

- 1) 京都大学医学部附属病院 薬剤部
- 2) 京都大学医学部附属病院 血液内科

## 003-012 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調 査－抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2019 年)

小島賢一<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>2)</sup>、増田純一<sup>3)</sup>、  
関根祐介<sup>4)</sup>、三浦直子<sup>5)</sup>

- 1) 荻窪病院血液凝固科
- 2) 兵庫医科大学血液内科
- 3) 国立国際医療研究センター病院 医薬品情報室
- 4) 東京医科大学病院 薬剤部
- 5) 荻窪病院薬剤部

## 003-013 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調 査－治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査 (2019 年)

日笠 聡<sup>1)</sup>、小島賢一<sup>2)</sup>、増田純一<sup>3)</sup>、  
関根祐介<sup>4)</sup>

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 荻窪病院 血液凝固科
- 3) 国立国際医療研究センター病院
- 4) 東京医科大学病院 薬剤部

## 003-014 STR時代における日本国内 HIV 陽性者の服薬アドヒランス調査

井上洋士<sup>1)</sup>、横山清司<sup>2)</sup>、長谷川孝一<sup>2)</sup>、羽深典之<sup>2)</sup>

- 1) 国立がん研究センターがん対策情報センター
- 2) ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部

■日時：11月27日(水) 10:40～11:30

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

### 004 薬剤師・薬局

座長 大石裕樹

(九州医療センター薬剤部)

栗原 健

(一般社団法人 日本病院薬剤師会)

## 004-015 精神的問題を抱える HIV 感染者に対する病院内外のスタッフ連携を考える～薬局薬剤師がゲートキーパーとなった事例から～

霧生瑠子<sup>1)</sup>、戸矢崎信也<sup>2)</sup>、木村聡太<sup>1)</sup>、小松賢亮<sup>1)</sup>、高橋卓巳<sup>3)</sup>、増田純一<sup>4)</sup>、矢崎博久<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
- 2) 戸山薬局
- 3) 筑波大学附属病院 精神神経科
- 4) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部

## 004-016 東北北海道の中核拠点病院の現状と生活習慣についてのアンケート調査

高橋道生<sup>1)</sup>、大森健太郎<sup>1)</sup>、重共孝一<sup>1)</sup>、田名部真紀子<sup>3)</sup>、駄馬さおり<sup>3)</sup>、畑中奈津江<sup>3)</sup>、宮城島拓人<sup>2)</sup>

- 1) 独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院 薬剤部
- 2) 独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院 内科
- 3) 独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院 看護部

## 004-017 自立支援医療(更生医療)指定薬局の抗 HIV 薬処方応需状況に関する調査

築地茉莉子<sup>1)</sup>、鈴木貴明<sup>1)</sup>、菅谷修平<sup>1)</sup>、高柳 晋<sup>2)</sup>、谷口俊文<sup>2)</sup>、猪狩英俊<sup>2)</sup>、石井伊都子<sup>1)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部
- 2) 千葉大学医学部附属病院 感染症内科

## 004-018 HIV 陽性外来患者にかかりつけ薬局が活用されない要因の検討ー患者アンケート調査の計量テキスト分析ー

武道涼平<sup>1)</sup>、富澤 淳<sup>1)</sup>、加藤 笑<sup>3)</sup>、持田俊也<sup>1)</sup>、奥脇達也<sup>1)</sup>、小川隆弘<sup>1)</sup>、春日井公美<sup>2)</sup>、和田達彦<sup>4)</sup>、厚田幸一郎<sup>1,2)</sup>

- 1) 北里大学病院薬剤部
- 2) 北里大学薬学部
- 3) 北里大学病院看護部
- 4) 北里大学医学部 膠原病・感染内科

## 004-019 HIV 感染症治療における院外処方への移行の推進に向けた薬剤師の取り組みと課題

野村直幸<sup>1)</sup>、松井綾香<sup>1)</sup>、飯塚暁子<sup>1)</sup>、藤原千尋<sup>1)</sup>、門田悦子<sup>1)</sup>、木梨貴博<sup>1)</sup>、村上由佳<sup>1)</sup>、齋藤誠司<sup>1)</sup>、坂田達朗<sup>1)</sup>、和田秀穂<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構 福山医療センター エイズ治療センター
- 2) 川崎医科大学 血液内科学

■日時：11月27日(水) 11:20～12:10

■会場：第3会場

(熊本城ホール 3F 大会議室 A4)

### 005 抗 HIV 療法 2

座長 橋口照人

(鹿児島大学 歯学部医学系 歯学部総合研究科 先進治療科学専攻 循環器・呼吸器病学講座)

塚田訓久

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

## 005-020 当院におけるリルピビルン/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミド/フル酸塩配合錠の使用状況について

中内崇夫<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>1)</sup>、櫛田宏幸<sup>1)</sup>、榎田智仁<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、西田泰治<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部
- 2) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

## 005-021 当院におけるテノホビルアラフェナミド/エムトリシタビン/ビクテグラビルの使用経験

池内和彦、安達英輔、林 阿英、古賀道子、堤 武也、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

005-022 テノホビルジソプロキシルフマル酸塩からテノホビルアラフェナミドへの変更による推算糸球体ろ過量変化速度への影響

日笠真一<sup>1)</sup>、島袋翔多<sup>1)</sup>、西田桜子<sup>1)</sup>、  
秀田恭子<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>2)</sup>、澤田暁宏<sup>2)</sup>、  
徳川多津子<sup>2)</sup>、田中邦佳<sup>1)</sup>、柳井美奈<sup>1)</sup>、  
木村 健<sup>1)</sup>

1) 兵庫医科大学病院 薬剤部  
2) 兵庫医科大学病院 血液内科

005-023 テノビル製剤の切り替えによる腎機能への影響～尿中β2-ミクログロブリンを用いた検討～

朽木絵美<sup>1)</sup>、右川 浩<sup>1)</sup>、岩淵千太郎<sup>2)</sup>、  
林みどり<sup>1)</sup>

1) 東京都立墨東病院薬剤科  
2) 東京都立墨東病院感染症科

005-024 北陸ブロックで処方されている抗 HIV 薬についての検討

渡邊珠代<sup>1)</sup>、辻 典子<sup>2)</sup>、朝倉英策<sup>3)</sup>、  
森永浩次<sup>4)</sup>、吉尾伸之<sup>5)</sup>、井上 仁<sup>6)</sup>、  
今村 信<sup>7)</sup>、市橋 匠<sup>8)</sup>、松本直樹<sup>9)</sup>、  
鳴河宗聡<sup>10)</sup>、彼谷裕康<sup>11)</sup>、岩崎博道<sup>12)</sup>

1) 石川県立中央病院免疫感染症科  
2) 石川県立中央病院 HIV 事務室  
3) 金沢大学附属病院  
4) 福井県立病院  
5) 国立病院機構金沢医療センター  
6) 国立病院機構敦賀医療センター  
7) 福井赤十字病院  
8) 市立敦賀病院  
9) 黒部市民病院  
10) 富山大学附属病院  
11) 富山県立中央病院  
12) 福井大学医学部附属病院

■日時：11月27日(水) 11:30～12:10

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 006 副作用

座長 内藤俊夫

(順天堂大学医学部総合診療科学講座)

白阪琢磨

(国立病院機構 大阪医療センター)

006-025 TDF から TAF への変更 48 週後、96 週後の腎関連検査値、脂質系検査値についての検討

柏原陽平<sup>1)</sup>、富島公介<sup>1)</sup>、増田章秀<sup>1)</sup>、  
弓場達也<sup>2)</sup>、津田正博<sup>1)</sup>、大野聖子<sup>2,3)</sup>

1) 京都第一赤十字病院 薬剤部  
2) 京都第一赤十字病院 呼吸器内科  
3) 京都第一赤十字病院 感染制御部

006-026 Tenofovir disoproxil fumarate から tenofovir alafenamide 変更例の体重、血中脂質への影響に関する検討

加藤万理<sup>1)</sup>、平野 淳<sup>1)</sup>、松本千鶴<sup>1)</sup>、  
松岡梨恵<sup>1)</sup>、福島直子<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>2)</sup>、  
岩谷靖雅<sup>2)</sup>、中井正彦<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤部  
2) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター感染・免疫研究部  
3) 国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター

006-027 不用意な ART 変更により急性腎障害をきたした一症例

松浦基夫<sup>1)</sup>、宮本愛梨沙<sup>2)</sup>、那波みゆき<sup>2)</sup>、  
宇高 歩<sup>2)</sup>、草間加与<sup>3)</sup>、西田幸司<sup>3)</sup>、  
小川吉彦<sup>4)</sup>

1) 堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科  
2) 堺市立総合医療センター薬剤科  
3) 堺市立総合医療センター呼吸器内科  
4) 堺市立総合医療センター感染症内科

006-028 ラルテグラビル 1200mg とプロトンポンプ阻害薬との併用による有害事象が疑われた一例

上原 仁<sup>1)</sup>、諸見牧子<sup>1)</sup>、与那覇房子<sup>1)</sup>、  
前田サオリ<sup>2)</sup>、宮城京子<sup>2)</sup>、石郷岡美穂<sup>3)</sup>、  
大城市子<sup>4)</sup>、辺土名優美子<sup>4)</sup>、仲村秀太<sup>5)</sup>、  
健山正男<sup>5)</sup>、藤田次郎<sup>5)</sup>、中村克徳<sup>1)</sup>

1) 琉球大学医学部附属病院薬剤部  
2) 琉球大学医学部附属病院看護部  
3) 琉球大学医学部附属病院医療福祉支援センター  
4) 沖縄県 HIV 派遣カウンセラー  
5) 琉球大学大学院感染症・呼吸器・消化器内科学講座

■日時：11月27日(水) 13:30～14:10

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 007 免疫再構築症候群

座長 白野倫徳

(大阪市立総合医療センター感染症内科)

渡邊珠代

(石川県立中央病院免疫感染症科)

007-029 著明な低血糖、乳酸アシドーシスで発症した悪性リンパ腫・免疫再構築症候群 (IRIS) の1例

寒川 整、酒井梨紗、加藤英明、中島秀明

横浜市立大学医学部血液・免疫・感染症内科学

007-030 結核に対する免疫再構築症候群により腸腰筋から大腿部にかけて難治性の膿瘍が生じたと考えられた HIV 患者の一例

堀内弘司<sup>1)</sup>、澤木賢司<sup>1)</sup>、佐々木裕明<sup>1)</sup>、宮田順之<sup>1)</sup>、吉村幸浩<sup>1)</sup>、立川夏夫<sup>1)</sup>、津田歩美<sup>2)</sup>、柳 秀高<sup>2)</sup>

1) 横浜市立市民病院

2) 東海大学医学部付属病院

007-031 ニューモシスチス肺炎にて発症した HIV 感染症における治療上の問題点

堀場昌英<sup>1)</sup>、矢崎夏美<sup>1)</sup>、下田 学<sup>1)</sup>、廣瀬友城<sup>1)</sup>、中野滋文<sup>1)</sup>、諸井文子<sup>1)</sup>、高杉知明<sup>1)</sup>、太田康男<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構東埼玉病院 呼吸器科

2) 国立病院機構東埼玉病院 内科

007-032 日本の医薬品副作用データベースを用いた HIV 感染症患者における免疫再構築症候群発症までの期間と予後に関連する因子の解析

田中博之<sup>1)</sup>、和田達彦<sup>2)</sup>、石井敏浩<sup>1)</sup>

1) 東邦大学薬学部

2) 北里大学病院膠原病・感染内科

■日時：11月27日(水) 13:30～14:10

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 008 日和見感染 1

座長 健山正男

(琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学)

立川夏夫

(横浜市立市民病院 感染症内科)

008-033 横浜市立市民病院におけるエイズ指標疾患例の解析 (2008-2018年)

吉村幸浩、佐々木裕明、堀内弘司、宮田信之、立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

008-034 多発性小嚢胞性陰影を呈したニューモシスチス肺炎で発症した AIDS の一例

永井博之<sup>1)</sup>、茂田光弘<sup>1)</sup>、服部元貴<sup>1)</sup>、関 将行<sup>2)</sup>、笠井昭吾<sup>1)</sup>、柳 富子<sup>3)</sup>、大河内康実<sup>1)</sup>

1) JCHO 東京山手メディカルセンター呼吸器内科

2) 同 薬剤部

3) 同 血液内科

008-035 HIV/ ニューモシスチス肺炎 (PCP) に合併した難治性両側気胸に対し、胸膜癒着術と気管支充填術を併用し救命できた一例

宮田順之<sup>1)</sup>、吉村幸浩<sup>1)</sup>、栗原正利<sup>2)</sup>、立川夏夫<sup>1)</sup>

1) 横浜市立市民病院感染症内科

2) 日産厚生会玉川病院気胸研究センター

008-036 薬剤アレルギーで治療に難渋し、Voriconazole (VRCZ) + 5-FC で治療を行ったクリプトコッカス髄膜炎の一例

今村淳治<sup>1)</sup>、近藤 旭<sup>2)</sup>、神尾咲留未<sup>2)</sup>、阿部謙介<sup>2)</sup>、鈴木美絵子<sup>1)</sup>、佐々木晃子<sup>1)</sup>、伊藤俊広<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構 仙台医療センター

2) 国立病院機構 仙台医療センター 薬剤部

# 一般演題 (口演)

■日時：11月27日(水) 14:10～14:50

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 009 日和見感染 2

座長 照屋勝治

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

永井英明

(国立病院機構 東京病院 呼吸器センター)

009-037 HIV 感染者の CMV モニタリングにおけるリアルタイム PCR 法の臨床評価

村田昌之、加勢田富士子、松本佑慈、高山耕治、豊田一弘、小川栄一、古庄憲浩

九州大学病院総合診療科

009-038 HIV 感染症合併帯状疱疹の臨床的特徴に関する検討

笠松亜由<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、田中 勝<sup>1)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、味澤 篤<sup>3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染制御科/臨床検査科  
3) 東京都立北療育医療センター

009-039 カポジ肉腫に対するリポソーマルドキソルビン投与中に *Talaromyces marneffe* と診断された日本人 HIV 感染者の 1 例

宮下竜伊<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、上久保淑子<sup>1)</sup>、山口知子<sup>1)</sup>、三好和康<sup>1)</sup>、近澤悠志<sup>1)</sup>、一木昭人<sup>1)</sup>、備後真登<sup>1)</sup>、村松 崇<sup>1)</sup>、横田和久<sup>1)</sup>、金子 誠<sup>1)</sup>、四本美保子<sup>1)</sup>、篠澤圭子<sup>2)</sup>、萩原 剛<sup>1)</sup>、稲葉 浩<sup>1)</sup>、天野景裕<sup>1,2)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、福武勝幸<sup>1,2)</sup>

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科  
2) 東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座

009-040 非梅毒性腸管スピロヘータ症を合併した HIV 感染症の 2 例

小山和彦<sup>1)</sup>、高濱宗一郎<sup>1)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>、山地由恵<sup>2)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、山本政弘<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科  
2) 国立病院機構 九州医療センター 看護部

■日時：11月27日(水) 14:40～15:40

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 010 免疫・ワクチン

座長 山本浩之

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

村越勇人

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 国際連携分野東京連携ラボ)

010-041 糖化フラボノイドにより活性化された 1 型  $\gamma\delta$ T 細胞による HIV 増殖抑制

高橋秀実、米川倫之、清水真澄、松村次郎

日本医科大学付属病院

010-042 ワクチン誘導 Gag<sub>241-249</sub> エピトープ特異的 CD8 陽性 T 細胞の交差反応性が SIV 感染に与える影響の解析

野村拓志<sup>1)</sup>、寺原和孝<sup>2)</sup>、石井 洋<sup>1)</sup>、山本浩之<sup>1)</sup>、三浦智行<sup>3)</sup>、俣野哲朗<sup>1,4,5)</sup>

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター  
2) 国立感染症研究所 免疫部  
3) 京都大学 ウイルス・再生医学研究所霊長類モデル研究分野  
4) 東京大学 医科学研究所  
5) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

010-043 効果的な抗体誘導に向けた新規 Env 搭載センダイウイルス粒子ワクチンの性状解析

石井 洋<sup>1)</sup>、中村 碧<sup>1)</sup>、徳炭 剛<sup>2)</sup>、朱 亜峰<sup>2)</sup>、俣野哲朗<sup>1,3)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
2) 株式会社 ID ファーマ  
3) 東京大学医科学研究所

010-044 single cell sorting と deep learning を用いた抗イディオタイプ抗体による抗 V3 loop 抗体分化の系統学的検討

郭 悠、Hasan MD Zahid、Shashwata Biswas、桑田岳夫、松下修三

熊本大学レトロウイルス学共同研究センター臨床レトロウイルス学分野

## 010-045 Microbial dysbiosis and associated functional shifts in gut microbiome of HIV infected patients

Parbie Prince Kofi <sup>1,2)</sup>、  
Taketoshi Mizutani <sup>4)</sup>、  
Aya Ishizaka <sup>4)</sup>、Sayuri Seki <sup>2)</sup>、  
Christopher Zaab-Yen Abana <sup>3)</sup>、  
Dennis Kushitor <sup>3)</sup>、  
Evelyn Yayra Bonney <sup>3)</sup>、  
Sampson Badu Ofori <sup>5)</sup>、  
William Kwabena Ampofo <sup>3)</sup>、  
Koichi Ishikawa <sup>2)</sup>、  
Tetsuro Matano <sup>1,2,4)</sup>

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 2) AIDS Research Centre, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan
- 3) Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana, Accra, Ghana
- 4) Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
- 5) Regional Hospital Koforidua, Ghana Health Service, Koforidua, Ghana

■日時：11月27日(水) 15:20～16:10

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 011 悪性腫瘍

座長 今村淳治

(国立病院機構 仙台医療センター)

渡邊 大

(国立病院機構 大阪医療センター)

## 011-046 顔面神経麻痺で発症した HIV 合併濾胞性リンパ腫

細田智弘 <sup>1)</sup>、布施彰久 <sup>2)</sup>、佐藤えみり <sup>3)</sup>、  
外山高朗 <sup>4)</sup>、坂本光男 <sup>1)</sup>

- 1) 川崎市立川崎病院感染症内科
- 2) 川崎市立川崎病院神経内科
- 3) 川崎市立川崎病院耳鼻咽喉科
- 4) 川崎市立井田病院血液内科

## 011-047 ドルテグラビルによる Organic Anion Transporter(OAT)-1 阻害によるメソトレキセート排泄遅延が疑われた中枢神経原発悪性リンパ腫の 1 例

畠山成寛 <sup>1)</sup>、寒川 整 <sup>2)</sup>、酒井梨紗 <sup>2)</sup>、  
坂本靖宜 <sup>1)</sup>、古川大輔 <sup>1)</sup>、小池博文 <sup>1)</sup>、  
加藤英明 <sup>2)</sup>、中島秀明 <sup>2)</sup>、佐橋幸子 <sup>1)</sup>

- 1) 横浜市立大学附属病院 薬剤部
- 2) 横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学

## 011-048 当院における HIV 感染合併悪性リンパ腫の臨床的検討

小西啓司、中川裕太、福岡里紗、森田 諒、  
山根和彦、麻岡大裕、中河秀憲、白野倫徳、  
後藤哲志

大阪市立総合医療センター 感染症内科

## 011-049 結核や悪性腫瘍と鑑別を要した HIV 感染症合併 EBV 関連多発平滑筋腫の 1 例

工藤由佳 <sup>1)</sup>、福島一彰 <sup>1)</sup>、藤原 翔 <sup>1)</sup>、  
田中 勝 <sup>1)</sup>、小林泰一郎 <sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎 <sup>1)</sup>、  
堀内正夫 <sup>2)</sup>、関谷紀貴 <sup>2)</sup>、味澤 篤 <sup>1,3)</sup>、  
今村顕史 <sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染制御科 臨床検査科
- 3) 東京都立北療育医療センター

## 011-050 ART 開始後に縮小傾向を認めた EBV-associated smooth muscle tumor 合併 AIDS の一例

荒 隆英 <sup>1,2)</sup>、遠藤知之 <sup>1,2)</sup>、後藤秀樹 <sup>1,2)</sup>、  
笠原耕平 <sup>3)</sup>、長谷川裕太 <sup>1,4)</sup>、横山翔大 <sup>1,4)</sup>、  
高桑恵美 <sup>5)</sup>、松野吉宏 <sup>5)</sup>、橋野 聡 <sup>6)</sup>、  
豊嶋崇徳 <sup>1,2)</sup>

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 市立旭川病院 血液内科
- 4) エイズ予防財団
- 5) 北海道大学病院 病理部
- 6) 北海道大学 保健センター

■日時：11月27日(水) 15:45～16:33

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 012 抗ウイルス剤

座長 前田賢次

(国立国際医療研究センター研究所)

三隅将吾

(熊本大学大学院生命科学研究所 環境分子保健学分野)

### 012-051 二量体化 HIV-1 膜融合阻害剤の作用機構

村上 努<sup>1)</sup>、海老原健人<sup>2)</sup>、小早川拓也<sup>2)</sup>、  
藤野真之<sup>1)</sup>、児玉栄一<sup>3)</sup>、玉村啓和<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所

3) 東北大学災害科学国際研究所

### 012-052 HIV プロテアーゼ阻害剤 GRL-142 とその誘導体の強力な抗ウイルス活性発揮機序の解明

服部真一郎<sup>1)</sup>、Haydar Bulut<sup>2)</sup>、  
林 宏典<sup>1,3)</sup>、青木 学<sup>1,2)</sup>、青木宏美<sup>2)</sup>、  
長谷川和也<sup>4)</sup>、Arun K. Ghosh<sup>5)</sup>、  
満屋裕明<sup>1,2,6)</sup>

1) 国立国際医療研究センター研究所

2) National Cancer Institute/NIH

3) 東北大学医学系研究科

4) 高輝度光科学センター

5) Purdue University

6) 熊本大学病院

### 012-053 P2-bis-THF 基および P2'-CpAbt 基を有し、多剤耐性 HIV 変異株に対しても強力な抗ウイルス活性を発揮する新規プロテアーゼ阻害薬の同定

高松悠樹<sup>1)</sup>、青木 学<sup>1,2)</sup>、  
Haydar Bulut<sup>1)</sup>、Debananda Das<sup>1)</sup>、  
天野将之<sup>3)</sup>、Venkata Reddy Sheri<sup>4)</sup>、  
Ladislau C. Kovari<sup>5)</sup>、林 宏典<sup>2)</sup>、  
Nicole S. Delino<sup>1,2)</sup>、Arun K. Ghosh<sup>4)</sup>、  
満屋裕明<sup>1,2,3)</sup>

1) National Cancer Institute・National Institute of Health

2) 国立国際医療研究センター研究所

3) 熊本大学

4) Purdue University・Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry

5) Wayne State University School of Medicine・Department of Biochemistry, Microbiology, and Immunology

### 012-054 熊本大学有用天然物ライブラリーを用いた HIV 潜伏感染細胞活性化剤の探索

岸本直樹、加藤 光、横手綾子、江口啓介、  
渡邊高志、塚本佐知子、三隅将吾

熊本大学大学院薬学教育部

■日時：11月27日(水) 16:10～16:40

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 013 PEP/nPEP/PrEP

座長 水島大輔

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

伊藤俊広

(国立病院機構 仙台医療センター 感染症内科、

国立病院機構 仙台医療センター HIV/AIDS 包括医療センター)

### 013-055 A mathematical model of HIV prevention strategies in Japanese MSM

Stuart Gilmour<sup>1)</sup>、Liping Peng<sup>2)</sup>、  
Jinghua Li<sup>2)</sup>、Haruko Hoshino<sup>1)</sup>、  
Junko Tanuma<sup>3)</sup>、Shinichi Oka<sup>3)</sup>

1) St. Luke's International University Graduate School of Public Health

2) Sun Yat Sen University, Guangzhou, China

3) National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan

### 013-056 個人輸入による PrEP 実施者の増加と SH 外来での対応

高野 操<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>2)</sup>、田中和子<sup>2)</sup>、  
青木孝弘<sup>2)</sup>、柳川泰昭<sup>2)</sup>、上村 悠<sup>2)</sup>、  
渡辺恒二<sup>2)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

2) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

### 013-057 HIV 非感染 MSM コホートにおける PrEP 研究に関する中間報告

水島大輔<sup>1)</sup>、高野 操<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、  
柳川泰昭<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、  
瀧永博之<sup>1,2)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター・エイズ治療研究開発センター

2) 熊本大学エイズ学研究センター

■日時：11月27日(水) 16:40～17:28

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 014 薬剤耐性

座長 杉浦 互

(バイオメリュー・ジャパンメディカルアフェアーズ)

蜂谷敦子

(国立病院機構 名古屋医療センター)

### 014-058 医療資源の限られた地域における MinION を用いた HIV *pol* 領域シーケンスの薬剤耐性検査への有用性の検討

菊地 正<sup>1)</sup>、Godfrey Barabona<sup>2)</sup>、George Judicate<sup>2)</sup>、Macdonald Mahiti<sup>3)</sup>、Doreen Kamori<sup>3)</sup>、Bruno Sunguya<sup>3)</sup>、Eligius Lyamuya<sup>3)</sup>、大出裕高<sup>4)</sup>、岩谷靖雅<sup>4)</sup>、俣野哲朗<sup>1)</sup>、上野貴将<sup>2)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

### 014-059 HIV drug resistance mutation in virally suppressed Tanzanians on long term ART

Godfrey Barabona<sup>1)</sup>、Macdonald Mahiti<sup>2)</sup>、Salim Masoud<sup>2)</sup>、Doreen Kamori<sup>2)</sup>、George Judicate<sup>1)</sup>、Kyoko Yamada<sup>1)</sup>、Amina Shaban Mgunya<sup>3)</sup>、Lilian Minja<sup>3)</sup>、Bruno Sunguya<sup>1,2)</sup>、Eligius Lyamuya<sup>1,2)</sup>、Takamasa Ueno<sup>1,2)</sup>

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto Univ
- 2) Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania
- 3) Muhimbili National Hospital, Tanzania

### 014-060 2017-18年に東海ブロックにおいて新規HIV-1感染者数が急増した集団の分子疫学的特徴

松田昌和<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>2)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、岡崎玲子<sup>1)</sup>、矢野邦夫<sup>3)</sup>、鶴見 寿<sup>4)</sup>、奥村暢将<sup>5)</sup>、谷口晴記<sup>6)</sup>、椎野禎一郎<sup>7)</sup>、羽柴知恵子<sup>8)</sup>、菊地 正<sup>9)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,10)</sup>

- 1) NHO 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) NHO 名古屋医療センター 臨床研究センター 臨床研究企画管理部 生体情報解析室
- 3) 浜松医療センター 感染症内科
- 4) 岐阜大学医学部附属病院 血液内科
- 5) 安城更生病院 呼吸器内科
- 6) 三重県立総合医療センター 産婦人科
- 7) 国立感染症研究所 感染症疫学センター
- 8) NHO 名古屋医療センター 看護部
- 9) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 10) 名古屋大学大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

### 014-061 国内伝播クラスタの検索プログラムの開発3：勢いを弱めた主要伝播クラスタ

椎野禎一郎<sup>1)</sup>、大谷眞智子<sup>2)</sup>、蜂谷敦子<sup>3)</sup>、吉村和久<sup>4)</sup>、菊地 正<sup>2)</sup>

- 1) 国立感染症研究所感染症疫学センター
- 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 4) 東京都健康安全研究センター

■日時：11月28日(木) 10:40～11:40

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 015 生活習慣病 1

座長 南 留美

(国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科)

天野景裕

(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

### 015-062 HIV 感染者における 10 年間での変化

古西 満<sup>1,2)</sup>、宇野健司<sup>2,3)</sup>、菱矢直邦<sup>2,3)</sup>、小川 拓<sup>2)</sup>、治田匡平<sup>4)</sup>、青井博志<sup>4)</sup>、川崎裕貴<sup>4)</sup>、笠原 敬<sup>2)</sup>、三笠桂一<sup>2)</sup>

- 1) 奈良県立医科大学健康管理センター
- 2) 奈良県立医科大学感染症センター
- 3) 南奈良総合医療センター感染症内科
- 4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部

**015-063 当院における糖尿病治療薬併用 HIV 感染症患者の現状調査**

押賀充則<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、熊木絵美<sup>1)</sup>、  
小林瑞季<sup>1)</sup>、霧生彩子<sup>1)</sup>、古屋貴人<sup>1)</sup>、  
長島浩二<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、  
瀧永博之<sup>2)</sup>、塚田訓久<sup>2)</sup>、寺門浩之<sup>1)</sup>、  
菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部  
2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

**015-064 HIV 感染症合併血友病患者における微小脳出血の経時的評価**

遠藤知之<sup>1,2)</sup>、後藤秀樹<sup>1,2)</sup>、荒 隆英<sup>1,2)</sup>、  
長谷川祐太<sup>1,3)</sup>、横山翔大<sup>1,3)</sup>、中川雅夫<sup>1)</sup>、  
加畑 馨<sup>1)</sup>、橋本大吾<sup>1)</sup>、橋野 聡<sup>2,4)</sup>、  
豊嶋崇徳<sup>1,2)</sup>

1) 北海道大学病院・血液内科  
2) 北海道大学病院・HIV 診療支援センター  
3) エイズ予防財団  
4) 北海道大学・保健センター

**015-065 当院におけるヒト免疫不全ウイルス陽性患者の虚血性心疾患の現状**

久保田修司<sup>1)</sup>、長井 蘭<sup>1)</sup>、中川 堯<sup>1)</sup>、  
岡崎 徹<sup>1)</sup>、山本正也<sup>1)</sup>、岡崎 修<sup>1)</sup>、  
原 久男<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、廣井透雄<sup>1)</sup>

1) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 循環器内科  
2) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

**015-066 薬害 HIV 感染患者における虚血性心疾患の早期発見のための脈波伝播速度検査の有用性**

長井 蘭<sup>1)</sup>、久保田修司<sup>1)</sup>、原 久男<sup>1)</sup>、  
小形幹子<sup>2)</sup>、上村 悠<sup>2)</sup>、柳川泰昭<sup>2)</sup>、  
青木孝弘<sup>2)</sup>、渡辺恒二<sup>2)</sup>、塚田訓久<sup>2)</sup>、  
田沼順子<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>、  
菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、廣井透雄<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター 循環器内科  
2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

**015-067 HIV 感染者における血管内皮機能検査と動脈硬化の危険因子との検討**

高濱宗一郎<sup>1)</sup>、小山和彦<sup>1)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>、  
山地由恵<sup>2)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、  
城崎真弓<sup>2)</sup>、山本政弘<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科  
2) 国立病院機構 九州医療センター 看護部

■日時：11月28日(木) 11:00～11:50

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 016 STI・STD

座長 渡辺恒二

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

四本美保子

(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

**016-068 腸管アメーバ赤痢に対する迅速抗原診断キットの有用性に関する検討 (Ameba-Dx 研究班)**

Ameba-Dx Study Group<sup>1)</sup>、遠藤知之<sup>2)</sup>、  
大塚梨沙<sup>3)</sup>、鯉淵智彦<sup>4)</sup>、古賀道子<sup>4)</sup>、  
小林泰一郎<sup>5)</sup>、坂井和巳<sup>5)</sup>、渋谷真美<sup>3)</sup>、  
下河原理江子<sup>6)</sup>、新行内裕之<sup>4)</sup>、土橋悦子<sup>3)</sup>、  
中田浩智<sup>7)</sup>、永田彩夏<sup>3)</sup>、福島理香<sup>7)</sup>、  
宮川寿一<sup>7)</sup>、八木田健司<sup>6)</sup>、柳川泰昭<sup>3,6)</sup>、  
渡辺恒二<sup>3)</sup>

1) Ameba-Dx 研究班事務局  
2) 北海道大学病院  
3) 国立国際医療研究センター  
4) 東京大学医科学研究所附属病院  
5) がん・感染症センター都立駒込病院  
6) 国立感染症研究所  
7) 熊本大学病院

**016-069 多様な赤痢アメーバ症病態における腸内細菌叢の比較検証**

柳川泰昭、渡辺恒二、上村 悠、水島大輔、  
青木孝弘、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、  
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療研究開発センター

**016-070 MSM における肛門 HPV 感染と前癌病変のリスクに関する検討**

塩尻大輔<sup>1,2)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、安藤尚克<sup>1,2)</sup>、  
青木孝弘<sup>1)</sup>、柳川泰昭<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、  
高野 操<sup>1)</sup>、出口佳美<sup>1)</sup>、小形幹子<sup>1)</sup>、  
渡辺恒二<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、  
矢崎博久<sup>1)</sup>、源河いくみ<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、  
菊池 嘉<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>

1) エイズ治療・研究開発センター 国立国際医療研究センター病院  
2) 熊本大学レトロウイルス学共同研究センター

## 016-071 Men who sex with men(MSM)における *Mycoplasma genitalium* の臨床的検討

安藤尚克<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、  
上村 悠<sup>1)</sup>、塩尻大輔<sup>1)</sup>、柳川泰昭<sup>1)</sup>、  
渡辺恒二<sup>1)</sup>、貞升健志<sup>2)</sup>、水戸部森歌<sup>2)</sup>、  
三宅啓文<sup>2)</sup>、横山敬子<sup>2)</sup>、西島 健<sup>1)</sup>、  
矢崎博久<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、  
照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター
- 2) 東京都健康安全研究センター微生物部

## 016-072 東京都における A 型肝炎ウイルスの遺伝子解析 (2015-2018 年)

長島真美、浅倉弘幸、永野美由紀、矢尾板優、  
宗村佳子、新開敬行、千葉隆司、吉村和久、  
貞升健志

東京都健康安全研究センター 微生物部

■日時：11月28日(木) 11:00～11:40

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 017 MSM

座長 高木雅敏

(熊本大学医学部附属病院 血液内科・感染免疫診療部)

新山 賢

(HaaT えひめ)

## 017-073 東海地域におけるゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした性感染症検査会の NGO による広報とその効果

高橋良介<sup>1,2)</sup>、石田敏彦<sup>2)</sup>、藤浦裕二<sup>2)</sup>、  
岩崎 誠<sup>2)</sup>、今橋真弓<sup>3)</sup>、金子典代<sup>4)</sup>

- 1) 日本福祉大学大学院 医療・福祉マネジメント研究科
- 2) ANGEL LIFE NAGOYA
- 3) 国立名古屋医療センター
- 4) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

## 017-074 コミュニティセンター来場者におけるセンターでの情報入手や相談経験、HIV 検査行動、新しい知識の浸透

金子典代<sup>1)</sup>、太田 貴<sup>2)</sup>、荒木 順<sup>3)</sup>、  
岩橋恒太<sup>3)</sup>、石田敏彦<sup>4)</sup>、宮田りりい<sup>5)</sup>、  
塩野徳史<sup>5)</sup>、玉城祐貴<sup>6)</sup>

- 1) 名古屋市立大学看護学研究科
- 2) やろっこ
- 3) 特定非営利活動法人 akta
- 4) ANGEL LIFE NAGOYA
- 5) MASH 大阪
- 6) nankr

## 017-075 MSM を対象とした郵送検査キット用いた HIV 検査 [HIVcheck.jp] のベニユーの拡大の試行

岩橋恒太<sup>1)</sup>、金子典代<sup>2)</sup>、高野 操<sup>3)</sup>、  
岡 慎一<sup>3)</sup>、本間隆之<sup>4)</sup>、健山正男<sup>5)</sup>、  
玉城祐貴<sup>6)</sup>、市川誠一<sup>7)</sup>、荒木 順<sup>1)</sup>、  
木南拓也<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>8)</sup>、佐藤郁夫<sup>8)</sup>、  
福原寿弥<sup>8)</sup>、林田庸総<sup>3)</sup>、中山保世<sup>9)</sup>、  
小日向弘雄<sup>9)</sup>、今村顕史<sup>10)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人 akta
- 2) 名古屋市立大学看護学部
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 4) 山梨県立大学看護学部
- 5) 琉球大学医学部第一内科
- 6) nankr OKINAWA
- 7) 金城学院大学消費生活科学研究科
- 8) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- 9) 東新宿こころのクリニック
- 10) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

## 017-076 MSM (Men who have sex with men) に包摂される女装者たちの性行動や HIV 感染症に対する意識

宮田りりい<sup>1)</sup>、塩野徳史<sup>2)</sup>、金子典代<sup>3)</sup>

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 大阪青山大学健康科学部看護学科
- 3) 名古屋市立大学看護学部

■日時：11月28日(木) 11:40～12:30

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 018 生活習慣病 2

座長 遠藤知之

(北海道大学病院血液内科、北海道大学病院 HIV 診療支援センター)

古西 満

(奈良県立医科大学健康管理センター)

018-077 インテグラーゼ阻害薬使用中の体重増加に関する HIV 感染者の検討

関谷綾子、宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、近澤悠志、備後真登、村松 崇、横田和久、四本美保子、萩原 剛、天野景裕、福武勝幸、木内 英

東京医科大学臨床検査医学分野

018-078 抗 HIV 療法継続下の体重増加に関する検討

田中 勝<sup>1)</sup>、藤原 翔<sup>1)</sup>、堀内正夫<sup>2)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>1,3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター東京都立駒込病院 感染症科  
2) がん・感染症センター東京都立駒込病院感染制御科  
3) 東京都立北療育医療センター

018-079 インテグラーゼ阻害剤による体重増加に関与する因子の検討

南 留美、高濱宗一郎、小山和彦、小松真梨子、城崎真弓、長與由紀子、犬丸真司、山本政弘

独立行政法人国立病院機構 九州医療センター

018-080 CD4 陽性リンパ球数に対する体脂肪率の影響

庄司久美子<sup>1)</sup>、白野倫徳<sup>2)</sup>、古西 満<sup>3)</sup>、笠松 悠<sup>4)</sup>、市田裕之<sup>2)</sup>、豊島裕子<sup>2)</sup>、後藤哲志<sup>2)</sup>、羽生大記<sup>5)</sup>

1) 女子栄養大学栄養学部  
2) 大阪市立総合医療センター感染症内科  
3) 奈良県立医科大学健康管理センター  
4) 京都府立医科大学附属病院感染症科  
5) 大阪市立大学生生活科学研究科

018-081 HIV 感染者の効果的な栄養食事指導に関する報告

三浦洋子<sup>1)</sup>、本田友絵<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>2)</sup>、千光寺智恵<sup>2)</sup>、久保田めぐみ<sup>2)</sup>、林 阿英<sup>3)</sup>、安達英輔<sup>3)</sup>、菊地 正<sup>3)</sup>、池内和彦<sup>2)</sup>、鯉淵智彦<sup>3)</sup>、畠山高年<sup>1)</sup>、富樫仁美<sup>1)</sup>、松原康朗<sup>1)</sup>、四柳 宏<sup>2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所附属病院栄養管理部  
2) 東京大学医科学研究所感染症分野  
3) 東京大学医科学研究所附属病院感染疫内科

■日時：11月28日(木) 11:50～12:30

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 019 歯科

座長 宇佐美雄司

(国立病院機構 名古屋医療センター 歯科口腔外科)

高木律男

(新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科顎分野)

019-082 HIV 感染者の歯科治療時の曝露事故における歯科医療従事者の心理に関するアンケート調査 (第1報)

近藤順子<sup>1)</sup>、丸岡 豊<sup>1,2)</sup>、高鍋雄亮<sup>1)</sup>、吉江佑介<sup>1)</sup>、安田早芳<sup>3)</sup>、墓田真弥<sup>1)</sup>、加藤 温<sup>4)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科  
2) 東京医科歯科大学大学院 顎口腔外科学分野  
3) 国立国際医療研究センター国府台病院 歯科  
4) 国立国際医療研究センター病院 精神科

019-083 HIV 感染者の歯科治療時の曝露事故における歯科医療従事者の心理に関するアンケート調査 (第2報)

高鍋雄亮<sup>1)</sup>、丸岡 豊<sup>1,2)</sup>、近藤順子<sup>1)</sup>、吉江佑介<sup>1)</sup>、安田早芳<sup>3)</sup>、墓田真弥<sup>1)</sup>、加藤 温<sup>4)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科  
2) 東京医科歯科大学大学院 顎口腔外科学分野  
3) 国立国際医療研究センター国府台病院 歯科  
4) 国立国際医療研究センター病院 精神科

019-084 歯科衛生士養成課程における HIV 感染症に関する教育についての研究

Yumiko Nakagawa<sup>1)</sup>、川崎洋平<sup>2)</sup>、  
近藤順子<sup>3)</sup>、大多和由美<sup>4)</sup>、高木律男<sup>5)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>、宇佐美雄司<sup>6)</sup>

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 千葉大学医学部附属病院臨床試験部生物統計室
- 3) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科
- 4) 東京歯科大学短期大学
- 5) 新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野
- 6) 国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科

019-085 HIV 感染症の歯科医療体制整備 歯科医療機関の感染対策の現状調査

猪狩英俊<sup>1)</sup>、谷口俊文<sup>1)</sup>、高柳 晋<sup>1)</sup>、  
矢幅美鈴<sup>1)</sup>、千葉 均<sup>1,2)</sup>、柴田幸治<sup>5)</sup>、  
築地茉莉子<sup>3)</sup>、鈴木貴明<sup>3)</sup>、葛田衣重<sup>4)</sup>、  
坂本洋右<sup>4)</sup>、丹沢秀樹<sup>4)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院 感染制御部
- 2) 千葉大学医学部附属病院 看護部
- 3) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部
- 4) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部
- 5) 千葉大学医学部附属病院 歯科顎口腔外科
- 6) 千葉感染制御研究所

■日時：11月28日(木) 11:40～12:30

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 020 HIV 予防

座長 金子典代

(名古屋市立大学大学院看護学研究科)

水島大輔

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

020-086 Network clustering of high-risk anal HPV-genotypes 16 and 45 of young Black MSM in Houston is not conditioned on HIV serostatus

Kayo Fujimoto<sup>1)</sup>、Aditya Khanna<sup>2)</sup>、  
Jing Zhao<sup>1)</sup>、Anna Giuliano<sup>3)</sup>、  
Lu-Yu Hwang<sup>1)</sup>、John Schneider<sup>2)</sup>、  
Alan Nyitray<sup>4)</sup>

- 1) University of Texas Health Science Center at Houston
- 2) University of Chicago
- 3) Lee Moffitt Cancer Center and Research Institute
- 4) University of Wisconsin at Milwaukee

020-087 Studies evaluating NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia: Results of the internet surveys in FY 2013, 2014, 2017 and 2018

Michiko Takaku<sup>1)</sup>、  
Myagmardorj Dorjgotov<sup>2)</sup>、  
Erdenetuya Gombo<sup>2)</sup>、  
Nyampurev Galsanjamts<sup>2)</sup>、  
Davaalkham Jagdagsuren<sup>3)</sup>、  
Seiichi Ichikawa<sup>4)</sup>、Satoshi Shiono<sup>5)</sup>、  
Noriyo Kaneko<sup>6)</sup>、Shinichi Oka<sup>7)</sup>

- 1) Gifu University of Health Science
- 2) Youth for Health Center
- 3) NCCD, Mongolia
- 4) Kinjo Gakuin University
- 5) Osaka Aoyama University
- 6) Nagoya City University
- 7) ACC, NCGM

020-088 MSMにおけるセクシュアルヘルス(HIV検査行動、新しい知識)に関する現状

塩野徳史

大阪青山大学

020-089 GPS 機能付きアプリケーションを利用する MSM における PrEP の利用経験とその実態 (1)

生島 嗣<sup>1)</sup>、三輪岳史<sup>1)</sup>、山口正純<sup>2)</sup>、  
大槻知子<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>

- 1) ぶれいす東京
- 2) 武南病院
- 3) 国立国際医療研究センター

020-090 GPS 機能付きアプリケーションを利用する MSM における PrEP の利用経験と実施実態 (2)

山口正純<sup>1)</sup>、三輪岳史<sup>2)</sup>、大槻知子<sup>2)</sup>、  
生島 嗣<sup>2)</sup>、水島大輔<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>

- 1) 武南病院内科
- 2) ぶれいす東京
- 3) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

# 一般演題 (口演)

■日時：11月28日(木) 14:00～14:50

■会場：第4会場

(熊本城ホール3F 中会議室 B1-B3)

## 021 看護

座長 平山江美

(東京女子医科大学病院看護部)

鍵浦文子

(広島国際大学看護学科)

021-091 HIV患者に対する病棟看護師が行う指導の実態

山地由恵、岸川真裕子

独立行政法人国立病院機構九州医療センター

021-092 エイズ治療拠点病院における診療看護師の活動

中村英樹、本田美和子、森 伸晃、片山充哉

独立行政法人国立病院機構東京医療センター総合内科

021-093 精神疾患をもつ HIV 感染者の支援

村上あおい、森田真由、村田龍宜、元林寛文、楠 寿子、清水恒広

地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院

021-094 HIV 感染および肺結核が判明した外国人母子の療養支援

前田サオリ<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>1)</sup>、仲村秀太<sup>2)</sup>、名嘉山賀子<sup>3)</sup>、健山正男<sup>2)</sup>、上原 仁<sup>4)</sup>、石郷岡美穂<sup>5)</sup>、大嶺千代美<sup>1)</sup>、藤田次郎<sup>2)</sup>

1) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院 看護部

2) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院感染症・呼吸器・消化器内科学講座

3) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院 医学研究科育成医学(小児科)講座

4) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院薬剤部

5) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院 地域医療部

021-095 アフリカ圏出身の HIV 陽性母子感染患者への訪問看護師としての関わり—内服支援と生活サポート—

追分日向子、宮城愛子、玉城直美

公益社団法人 沖縄県看護協会 訪問看護ステーションはえばる

■日時：11月28日(木) 14:00～14:40

■会場：第5会場

(熊本城ホール3F 中会議室 C1-C2)

## 022 HIV 感染症一般・その他 1 (HAND・透析)

座長 高田清式

(愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研究センター)

木内 英

(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

022-096 HIV 陽性者に対するアイオワ・ギャングリング課題と BADS との関連

中尾 綾<sup>1)</sup>、山之内純<sup>1)</sup>、末盛浩一郎<sup>1)</sup>、竹中克斗<sup>1)</sup>、高田清式<sup>2)</sup>

1) 愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学

2) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター

022-097 HIV 感染者における CoCo-Battery および POMS 結果と就労状況との検討

田中貴大<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>2)</sup>、津田春香<sup>2)</sup>、千光寺智恵<sup>2)</sup>、久保田めぐみ<sup>2)</sup>、安達英輔<sup>1)</sup>、池内和彦<sup>2)</sup>、菊地 正<sup>1)</sup>、堤 武也<sup>2)</sup>、鯉淵智彦<sup>1)</sup>、四柳 宏<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

2) 東京大学医科学研究所感染症分野

022-098 HIV 感染者の維持血液透析受け入れについて

土谷良樹

東京勤労者医療会 東葛病院

022-099 地域医療連携構築を目標とした透析施設における HIV 感染者の受け入れ実態調査

高柳 晋<sup>1)</sup>、猪狩英俊<sup>1)</sup>、谷口俊文<sup>1)</sup>、葛田衣重<sup>2)</sup>

1) 千葉大学医学部附属病院 感染症内科

2) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部

# 一般演題 (口演)

■日時：11月28日(木) 14:00～14:40

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 023 歯科診療

座長 新谷智章

(広島大学病院 口腔検査センター)

吉川博政

(国立病院機構 九州医療センター 歯科口腔外科)

### 023-100 HIV 感染症に関する知識及び意識調査～ 歯科衛生士学生において～

向 真紀<sup>1)</sup>、宮田 勝<sup>2)</sup>、高木純一郎<sup>2)</sup>、  
釜本宗史<sup>2)</sup>、越田美和<sup>1)</sup>、槇野莉沙<sup>1)</sup>、  
渡邊珠代<sup>3)</sup>、高山次代<sup>4)</sup>、辻 典子<sup>5)</sup>、  
宮浦朗子<sup>6)</sup>

- 1) 石川県立中央病院歯科技術室
- 2) 石川県立中央病院歯科口腔外科
- 3) 石川県立中央病院免疫感染症科
- 4) 石川県立中央病院看護部
- 5) 石川県立中央病院 HIV 事務室
- 6) 金沢歯学会歯科

### 023-101 拠点病院における歯科衛生士臨床実習の 効果について

宇佐美雄司、萩野浩子

名古屋医療センター歯科口腔外科

### 023-102 群馬県における HIV 歯科診療連携事業の 現状報告～施設スタッフアンケート結果 より～

石崎芳美<sup>1)</sup>、中村聡洋<sup>1)</sup>、柳澤邦雄<sup>3)</sup>、  
小川孔幸<sup>2)</sup>、内藤千晶<sup>2)</sup>、樋口裕哉<sup>4)</sup>、  
城田陽子<sup>5)</sup>、合田 史<sup>6)</sup>、内海英貴<sup>7)</sup>、  
下山田めぐみ<sup>8)</sup>、櫻井昇幸<sup>8)</sup>、大谷忠広<sup>1)</sup>、  
半田 寛<sup>2)</sup>

- 1) 群馬大学医学部附属病院 看護部
- 2) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 3) 群馬大学医学部附属病院 感染制御部
- 4) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
- 5) 群馬大学医学部附属病院 医事課 (エイズ予防財団)
- 6) 国立病院機構 高崎総合医療センター 総合診療科
- 7) 医療法人社団日高会 白根クリニック
- 8) 群馬県健康福祉部保健予防課感染症対策係

### 023-103 PEP 配布により構築した歯科診療ネッ トワークの検討

宇佐美雄司<sup>1)</sup>、萩野浩子<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>

- 1) 名古屋医療センター歯科口腔外科
- 2) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター

■日時：11月28日(木) 14:50～15:30

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 024 母子感染

座長 定月みゆき

(国立国際医療研究センター病院)

### 024-104 HIV 母子感染予防啓発に関する全国自治 体アンケート調査と今後の啓発活動の考 察

桃原祥人<sup>1,2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、伊藤由子<sup>2)</sup>、  
大里和広<sup>2)</sup>、小山理恵<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、  
塚原優己<sup>2)</sup>、渡邊英恵<sup>2)</sup>、羽柴知恵子<sup>2)</sup>、  
廣瀬紀子<sup>2)</sup>、佐野貴子<sup>2)</sup>、鈴木ひとみ<sup>2)</sup>、  
長與由紀子<sup>2)</sup>、津國瑞紀<sup>2)</sup>、浅野 真<sup>1,2)</sup>、  
谷村憲司<sup>2)</sup>、森實真由美<sup>2)</sup>、木内 英<sup>2)</sup>、  
喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 東京都立大塚病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業  
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ  
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび  
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

### 024-105 本邦における HIV 感染妊娠の将来予測

杉浦 敦<sup>1,2)</sup>、山中彰一郎<sup>2)</sup>、竹田善紀<sup>2)</sup>、  
市田宏司<sup>2)</sup>、中西美紗緒<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、  
松田秀雄<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、  
小林裕幸<sup>2)</sup>、佐久本薫<sup>2)</sup>、太田 寛<sup>2)</sup>、  
藤田 綾<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、大津 洋<sup>2)</sup>、  
吉野直人<sup>2)</sup>、山田里佳<sup>2)</sup>、定月みゆき<sup>2)</sup>、  
田中瑞恵<sup>2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>1,2)</sup>

- 1) 奈良県総合医療センター 産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業  
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ  
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび  
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

### 024-106 HIV 感染の判明時期が妊娠後期・分娩後 であった症例に関する検討

竹田善紀<sup>1)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、山中彰一郎<sup>1)</sup>、  
市田宏司<sup>2)</sup>、中西美紗緒<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、  
松田秀雄<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、  
小林裕幸<sup>2)</sup>、佐久本薫<sup>2)</sup>、太田 寛<sup>2)</sup>、  
石橋理子<sup>2)</sup>、藤田 綾<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、  
吉野直人<sup>2)</sup>、山田里佳<sup>2)</sup>、定月みゆき<sup>2)</sup>、  
田中瑞恵<sup>2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 奈良県立医科大学附属病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業  
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ  
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび  
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

024-107 HIV 母子感染予防の cART  
～「HIV 母子感染予防対策マニュアル(第  
8 版)」および「HIV 感染妊娠に関する診  
療ガイドライン(初版)より～

白野倫徳<sup>1,2)</sup>、山田里佳<sup>2)</sup>、谷口晴記<sup>2)</sup>、  
塚原優己<sup>2)</sup>、井上孝実<sup>2)</sup>、出口雅士<sup>2)</sup>、  
中西 豊<sup>2)</sup>、鳥谷部邦明<sup>2)</sup>、大里和広<sup>2)</sup>、  
千田時弘<sup>2)</sup>、杉野祐子<sup>2)</sup>、羽柴知恵子<sup>2)</sup>、  
渡邊英恵<sup>2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、  
定月みゆき<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、  
喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター感染症内科  
2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業  
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ  
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび  
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

■日時：11月28日(木) 14:40～15:20

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 025 HIV 感染症一般・その他 2 (医療体制)

座長 横幕能行

(国立病院機構 名古屋医療センター)

菊池 嘉

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

025-108 診療所での HIV 診療の 15 年

高田 昇、小田健司

おだ内科クリニック

025-109 診療所における HIV 感染症診療の試み一  
第 12 報

根岸昌功<sup>1)</sup>、河村祐貴子<sup>1)</sup>、河野小夜子<sup>1)</sup>、  
織田幸子<sup>1)</sup>、西岡春菜<sup>1)</sup>、里 英子<sup>2)</sup>

- 1) ねぎし内科診療所  
2) 東京家政大学

025-110 クリニックで診る HIV 感染症～診断と診  
断後のプライマリ・ケア～

谷口 恭、安田とよみ、林比加里、木村 舞

(医) 太融寺町谷口医院

025-111 我が国の抗 HIV 療法の現状と今後

横幕能行<sup>1)</sup>、伊藤俊広<sup>2)</sup>、山本政弘<sup>3)</sup>、  
岡 慎一<sup>4)</sup>、豊嶋崇徳<sup>5)</sup>、茂呂 寛<sup>6)</sup>、  
渡邊珠代<sup>7)</sup>、渡邊 大<sup>8)</sup>、藤井輝久<sup>9)</sup>、  
今橋真弓<sup>1)</sup>、渡邊真理子<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター  
2) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター  
3) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター  
4) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センターエイ  
ズ治療・研究開発センター  
5) 北海道大学病院  
6) 新潟大学医学総合病院  
7) 石川県立中央病院  
8) 独立行政法人大阪医療センター  
9) 広島大学病院

■日時：11月28日(木) 14:40～15:30

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 026 陽性者支援

座長 青木理恵子

(特定非営利活動法人 CHARM)

富田健一

(北海道大学病院 HIV 診療支援センター)

026-112 HIV 陽性のカミングアウトの選択プロセ  
スに関する検討—選択に伴う葛藤に着目  
して—

林 陸<sup>1)</sup>、清水貴裕<sup>2)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院 精神神経科  
2) 東北学院大学教養学部

026-113 抗 HIV 療法の開始・継続と身体障害者認  
定について

川村依世、岡本 学、大塚晃子

大阪医療センター

026-114 院内連携の課題が明らかとなった、HIV  
関連神経認知障害患者の広域での転院支  
援

前田英武、四國友理、中村美保、西田拓洋、  
岡崎雅史、北村優衣、朝霧 正、武内世生

高知大学医学部附属病院 エイズケアチーム

026-115 北関東における HIV 陽性者のためのピ  
ア・プログラムの立ち上げについて

佐藤郁夫、加藤力也、生島 嗣

特定非営利活動法人ぶれいす東京

## 026-116 地域で HIV 陽性者を支えるために実施した意見交換会の成果

鈴木明子<sup>1)</sup>、葛田衣重<sup>2)</sup>、種恵理子<sup>3)</sup>、  
高橋治紀<sup>1)</sup>、宮崎 愛<sup>1)</sup>、神明朱美<sup>1)</sup>、  
松尾尚美<sup>1)</sup>、古谷佳苗<sup>2)</sup>、遠藤千鶴<sup>2)</sup>、  
高橋文子<sup>2)</sup>、柴田幸治<sup>4)</sup>、猪狩英俊<sup>2)</sup>

- 1) 城西国際大学  
2) 千葉大学医学部附属病院  
3) 前城西国際大学  
4) 千葉感染制御研究所

■日時：11月28日(木) 15:40～16:20

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 027 HIV 感染症一般・その他 3 (検査)

座長 今村顕史

(がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)

今橋真弓

(国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター感  
染・免疫研究部)

## 027-117 東京都の HIV 無料匿名検査における WB-1 法判定保留例、陰性例における Geenius HIV 1/2 キットの使用経験

長島真美<sup>1)</sup>、北村有里恵<sup>1)</sup>、熊谷遼太<sup>1)</sup>、  
新開敬行<sup>1)</sup>、千葉隆司<sup>1)</sup>、城所俊英<sup>2)</sup>、  
吉村和久<sup>1)</sup>、貞升健志<sup>1)</sup>

- 1) 東京都健康安全研究センター 微生物部  
2) 東京都南新宿検査・相談室

## 027-118 乾燥ろ紙血を用いた HIV Ag/Ab 郵送検査の性質についての検討

林田庸総<sup>1)</sup>、柏木恵莉<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>1)</sup>、  
高野 操<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、  
菊池 嘉<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>2)</sup>、金子典代<sup>3)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エ  
イズ治療・研究開発センター  
2) 特定非営利活動法人 akta  
3) 名古屋市立大学 看護学部

## 027-119 職場における HIV 感染症 / AIDS の検査機会提供の有用性と課題

横幕能行<sup>1)</sup>、高橋秀人<sup>2)</sup>、生島 嗣<sup>3)</sup>、  
伊藤公人<sup>4)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、渡邊真理子<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター  
2) 国立保健医療科学院  
3) 特定非営利活動法人 ふれいす東京  
4) 社会医療法人 宏潤会 大同病院

## 027-120 当院における HIV 感染者での A 型肝炎の現状 ～ワクチン接種および接種後抗体価の検討～

板倉泰朋、吉田 敦、平山江美、水島 遼、  
平井由児、古賀一郎、菊池 賢

東京女子医科大学 感染症科

■日時：11月28日(木) 15:40～16:20

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 028 長期療養・薬害

座長 大木幸子

(杏林大学 地域看護学)

若林チヒロ

(埼玉県立大学健康開発学科)

## 028-121 久留米地区における HIV 陽性者の老人ホーム・介護施設での受け入れの現状

富永正樹<sup>1)</sup>、石橋幹雄<sup>2)</sup>、三浦美穂<sup>3)</sup>、  
片山英希<sup>3)</sup>、野中公美子<sup>4)</sup>、大里文誉<sup>4)</sup>、  
丸山奈津実<sup>5)</sup>、星野友昭<sup>1)</sup>

- 1) 久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病  
内科部門  
2) 久留米大学病院薬剤部  
3) 久留米大学病院感染制御部  
4) 久留米大学病院医療連携センター  
5) 久留米大学病院栄養部

## 028-122 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言 (第二報) ～全国実態調査からみた、病態悪化時に備えた生活再構築の課題と支援対応

久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、武田飛呂城、  
大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

## 028-123 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言 (第三報) ～リハビリ検診会・勉強会の支援成果と全国の均てん化に向けた課題

岩野友里、久地井寿哉、柿沼章子、武田飛呂城、  
大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

## 028-124 HIV・脳血管疾患・高次機能障害患者の入院～在宅療養に向けた家族看護を中心にした関わり

高橋由起子<sup>1)</sup>、日下喜久江<sup>1)</sup>、櫻橋信行<sup>2)</sup>、中村 朗<sup>3)</sup>

- 1) 地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 看護局
- 2) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院 看護局
- 3) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院 医療連携福祉相談室
- 4) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院 感染症科

■日時：11月28日(木) 17:00～17:36

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

### 029 アクセサリー-遺伝子

座長 武内寛明

(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 医歯学系専攻 生体環境応答学講座 ウイルス制御学)

宮川 敬

(横浜市立大学 大学院医学研究科 微生物学)

## 029-127 *in vivo* passage で獲得したサル馴化 HIV-1 の *vif* 遺伝子領域における欠損変異の役割

松岡和弘<sup>1)</sup>、中田佳宏<sup>1,2)</sup>、鷺崎彩夏<sup>3)</sup>、芳田 剛<sup>3)</sup>、齊藤 暁<sup>3)</sup>、関 洋平<sup>3)</sup>、大出裕高<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>1)</sup>、保富康宏<sup>4)</sup>、原田恵嘉<sup>5)</sup>、石井 洋<sup>5)</sup>、俣野哲朗<sup>5)</sup>、三浦智行<sup>6)</sup>、佐藤賢文<sup>7)</sup>、明里宏文<sup>3,6)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科
- 3) 京都大学霊長類研究所・人類進化モデル研究センター
- 4) 医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医学研究センター
- 5) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 6) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所・附属感染症モデル研究センター
- 7) ヒトレトロウイルス学共同研究センター熊本大学キャンパス

## 029-125 HIV-1-related disorders progression is driven by sustained Nef-induced high plasma IL-6 and altered monocytes phenotypes in infected patients

Hesham Nasser

Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan.

## 029-126 HIV-1 は抗ウイルスタンパク質ヒトBST-2を妨害する機能をどのように獲得したのか

Weitong Yao、芳田 剛、橋本紗希、武内寛明、山岡昇司

東京医科歯科大学 ウイルス制御学分野

■日時：11月28日(木) 16:40～17:30

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 030 薬剤耐性

座長 吉村和久

(東京都健康安全研究センター)

青木孝弘

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

### 030-128 国内新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV-1 の動向

蜂谷敦子<sup>1)</sup>、佐藤かおり<sup>2)</sup>、豊嶋崇徳<sup>2)</sup>、  
伊藤俊広<sup>3)</sup>、林田庸総<sup>4)</sup>、岡 慎一<sup>4)</sup>、  
瀧永博之<sup>4)</sup>、古賀道子<sup>5)</sup>、長島真美<sup>6)</sup>、  
貞升健志<sup>6)</sup>、近藤真規子<sup>7)</sup>、椎野禎一郎<sup>8)</sup>、  
須藤弘二<sup>9)</sup>、加藤真吾<sup>9)</sup>、谷口俊文<sup>10)</sup>、  
猪狩英俊<sup>10)</sup>、寒川 整<sup>11)</sup>、中島秀明<sup>11)</sup>、  
吉野友祐<sup>12)</sup>、堀場昌秀<sup>13)</sup>、太田康男<sup>13)</sup>、  
茂呂 寛<sup>14)</sup>、渡邊珠代<sup>15)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、  
重見 麗<sup>1)</sup>、岡崎玲子<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1)</sup>、  
横幕能行<sup>1)</sup>、渡邊 大<sup>16)</sup>、小島洋子<sup>17)</sup>、  
森 治代<sup>17)</sup>、藤井輝久<sup>18)</sup>、高田清式<sup>19)</sup>、  
中村麻子<sup>20)</sup>、南 留美<sup>21)</sup>、山本政弘<sup>21)</sup>、  
松下修三<sup>22)</sup>、健山正男<sup>23)</sup>、藤田次郎<sup>23)</sup>、  
杉浦 互<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>6,8)</sup>、菊地 正<sup>8)</sup>

- 1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター
- 2) 北海道大学
- 3) (独) 国立病院機構 仙台医療センター
- 4) 国立国際医療研究センター
- 5) 東京大学医科学研究所
- 6) 東京都健康安全研究センター
- 7) 神奈川県衛生研究所
- 8) 国立感染症研究所
- 9) 慶應義塾大学
- 10) 千葉大学
- 11) 横浜市立大学
- 12) 帝京大学
- 13) (独) 国立病院機構 東埼玉病院
- 14) 新潟大学
- 15) 石川県立中央病院
- 16) (独) 国立病院機構 大阪医療センター
- 17) (独) 大阪健康安全基盤研究所
- 18) 広島大学
- 19) 愛媛大学
- 20) 福岡県保健環境研究所
- 21) (独) 国立病院機構 九州医療センター
- 22) 熊本大学
- 23) 琉球大学

### 030-129 東海ブロックにおける HIV-1 非サブタイプ B の動向調査と伝播性薬剤耐性変異の頻度解析

岡崎玲子<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、  
矢野邦夫<sup>2)</sup>、鶴見 寿<sup>3)</sup>、奥村暢将<sup>4)</sup>、  
谷口晴記<sup>5)</sup>、志智大介<sup>6)</sup>、池谷 健<sup>7)</sup>、  
伊藤公人<sup>8)</sup>、松下 正<sup>9)</sup>、羽柴智恵子<sup>1)</sup>、  
中畑征史<sup>1)</sup>、小暮あゆみ<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、  
今村淳治<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1)</sup>、杉浦 互<sup>1)</sup>、  
吉村和久<sup>10)</sup>、蜂谷敦子<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 2) 浜松医療センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院
- 4) 安城更生病院
- 5) 地方独立行政法人三重県立総合医療センター
- 6) 聖隷三方原病院
- 7) 藤枝市立総合病院
- 8) 社会医療法人宏潤会大同病院
- 9) 名古屋大学医学部附属病院
- 10) 国立感染症研究所

### 030-130 当院における HIV-1 インテグラーゼ薬剤耐性検査の検出状況報告

饒平名聖<sup>1)</sup>、石原美紀<sup>1)</sup>、島袋末美<sup>1)</sup>、  
渡嘉敷良乃<sup>1)</sup>、名護珠美<sup>1)</sup>、上原 仁<sup>2)</sup>、  
宮城京子<sup>3)</sup>、前田サオリ<sup>3)</sup>、仲村秀太<sup>4)</sup>、  
健山正男<sup>4)</sup>、前田士郎<sup>1)</sup>

- 1) 琉球大学医学部附属病院 検査・輸血部
- 2) 琉球大学医学部附属病院 薬剤部
- 3) 琉球大学医学部附属病院 看護部
- 4) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座

### 030-131 当センターにおける逆転写酵素阻害剤 (NRTI) 耐性症例の検討

青木孝弘、安藤尚克、塩尻大輔、上村 悠、  
柳川泰昭、水島大輔、西島 健、渡辺恒二、  
塚田訓久、田沼順子、照屋勝治、瀧永博之、  
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

### 030-132 INSTI 多剤耐性変異を獲得した 1 例

一木昭人<sup>1)</sup>、四本美保子<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>2)</sup>、  
宮下竜伊<sup>1)</sup>、上久保淑子<sup>1)</sup>、近澤悠志<sup>1)</sup>、  
備後真登<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、村松 崇<sup>1)</sup>、  
横田和久<sup>1)</sup>、萩原 剛<sup>1)</sup>、天野景裕<sup>1)</sup>、  
木内 英<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
- 2) 名古屋医療センター 臨床研究センター

# 一般演題 (口演)

■日時：11月28日(木) 17:36～18:12

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 031 宿主因子

座長 徳永研三

(国立感染症研究所 感染病理部)

野間口雅子

(徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物病原学分野)

031-133 A single amino acid change in an extracellular loop of SERINC5 attenuates the ability to restrict HIV-1 infectivity

Toong Seng Tan, Mako Toyoda, Takamasa Ueno

Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan

031-134 HIV-1 Gag 集合初期に関わる内在性集合促進因子の探索

駒 貴明<sup>1)</sup>、土肥直哉<sup>1)</sup>、足立昭夫<sup>2)</sup>、野間口雅子<sup>1)</sup>

1) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 微生物病原学分野

2) 関西医科大学 医学部 微生物学講座

031-135 Tumor mutator APOBEC3B binds to cellular non-coding RNAs to inhibit retroelements

松本忠彦、白川康太郎、小藪助直、Anamaria Daniela Sarca、Emani Stanford、福田寛文、松井宏行、山崎寛章、数馬安浩、堀澤欣史、高折晃史

京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学

■日時：11月28日(木) 17:30～18:30

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 032 メンタルヘルス・薬物使用

座長 辻麻理子

(国立病院機構九州医療センター)

徐 淑子

(新潟県立看護大学)

032-136 当院のHIV陽性者に対する心理面接での語りからみるメンタルヘルスの課題 - テキストマイニングを用いた質的研究 -

木村聡太<sup>1)</sup>、小松賢亮<sup>1)</sup>、霧生瑤子<sup>1)</sup>、渡邊愛祈<sup>2)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

2) 東京都立小児総合医療センター

032-137 日本人HIV感染者のうつに関連する要因と精神科の受診率：質問紙調査の結果から

鍵浦文字<sup>1,11)</sup>、喜花伸子<sup>2)</sup>、安尾有加<sup>3)</sup>、佐々木晃子<sup>4)</sup>、池田和子<sup>5)</sup>、高山次代<sup>6)</sup>、川口 玲<sup>7)</sup>、羽柴知恵子<sup>8)</sup>、東 政美<sup>9)</sup>、城崎真弓<sup>10)</sup>、松山亮太<sup>11)</sup>、梯 正之<sup>11)</sup>

1) 広島国際大学

2) 広島大学病院

3) 神戸医療センター

4) 仙台医療センター

5) 国立国際医療研究センター病院

6) 石川県立中央病院

7) 新潟大学医歯学総合病院

8) 名古屋医療センター

9) 北海道大学病院

10) 九州医療センター

11) 広島大学

**032-138 日本人 HIV 陽性者におけるストレス関連成長の実態とその特徴**

戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>1,2)</sup>、高久陽介<sup>3)</sup>、大島 岳<sup>4)</sup>、阿部桜子<sup>5)</sup>、細川陸也<sup>6)</sup>、塩野徳史<sup>7)</sup>、米倉佑貴<sup>10)</sup>、片倉直子<sup>9)</sup>、山内麻江<sup>8)</sup>、河合 薫<sup>11)</sup>、若林チヒロ<sup>12)</sup>、大木幸子<sup>13)</sup>

- 1) 放送大学
- 2) 国立がん研究センター
- 3) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 一橋大学大学院
- 5) (株) TIS
- 6) 名古屋市立大学
- 7) 大阪青山大学
- 8) 了徳寺大学
- 9) 神戸市看護大学
- 10) 聖路加国際大学
- 11) (株) MH レボリューション
- 12) 杏林大学
- 13) 埼玉県立大学

**032-139 依存症専門外来でゲイであることを自らカミングアウトした HIV 感染症を有する物質使用障害患者の臨床的特徴**

西村康平、板橋登子、福生泰久、黒澤文貴、小林桜児  
神奈川県立精神医療センター

**032-140 広島大学病院における HIV 陽性者の覚せい剤使用者への支援 - 地域の専門機関へのつながり -**

杉本悠貴恵<sup>1,2)</sup>、喜花伸子<sup>1,2)</sup>、山崎尚也<sup>2)</sup>、井上暢子<sup>2)</sup>、柿本聖樹<sup>5)</sup>、佐々木美希<sup>1,6)</sup>、宮原明美<sup>3)</sup>、池田有里<sup>3)</sup>、大成杏子<sup>1,6)</sup>、村上英子<sup>1,2)</sup>、田中まりの<sup>4)</sup>、石井聡一郎<sup>4)</sup>、畝井浩子<sup>4)</sup>、高田 昇<sup>7)</sup>、藤井輝久<sup>1,2)</sup>

- 1) 広島大学病院 エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院 輸血部
- 3) 広島大学病院 看護部
- 4) 広島大学病院 薬剤部
- 5) 広島大学病院 総合診療科
- 6) 公財エイズ予防財団
- 7) おだ内科クリニック

**032-141 薬物使用の告知と法的拘留の関係についての検討**

宮林優子<sup>1)</sup>、松本雅美<sup>1)</sup>、寺澤美穂<sup>1)</sup>、野村 誠<sup>1)</sup>、吉村幸浩<sup>2)</sup>、宮田順之<sup>2)</sup>、堀内弘司<sup>2)</sup>、立川夏夫<sup>2)</sup>

- 1) 横浜市立市民病院看護部
- 2) 横浜市立市民病院感染症内科

■日時：11月28日(木) 18:12～19:00

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

**033 リザーバー・プロウイルス**

座長 白川康太郎

(京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科)

前田賢次

(国立国際医療研究センター研究所)

**033-142 抗レトロウイルス療法下における HIV-1 プロウイルスの動態**

森 治代<sup>1)</sup>、小島洋子<sup>2)</sup>、阪野文哉<sup>1)</sup>、川畑拓也<sup>1)</sup>、森田 諒<sup>3)</sup>、小西啓司<sup>3)</sup>、麻岡大裕<sup>3)</sup>、白野倫徳<sup>3)</sup>、古西 満<sup>4)</sup>

- 1) (地独) 大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課
- 2) (地独) 大阪健康安全基盤研究所企画部研究企画課
- 3) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 4) 奈良県立医科大学健康管理センター

**033-143 piCode™ 技術を適用した高感度 PCR 法による HIV ウイルスリザーバー定量評価法の確立**

鈴木一雄<sup>1)</sup>、石田尚臣<sup>2)</sup>

- 1) St Vincent's Hospital, Sydney, Australia
- 2) 医科学研究所 アジア感染症研究拠点

**033-144 Virological and Hematological Analyses of Fibrocytes in HIV-1 Infected Patients**

野依 修、Hesham Nasser、Omnia Abdelrahman、Shinya Suzu

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

**033-145 HIV 再活性化に伴うアポトーシス誘導能を用いた HIV リザーバー除去に資する新たな Shock & Kill 療法の可能性**

松田幸樹<sup>1)</sup>、服部真一郎<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>2)</sup>、小早川拓也<sup>3)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>、吉村和久<sup>4,5,6)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、遠藤泰之<sup>7)</sup>、玉村啓和<sup>3)</sup>、満屋裕明<sup>1,8,9)</sup>、前田賢次<sup>1,6)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター・難治性ウイルス感染症研究部
- 2) 国立国際医療研究センター・エイズ治療研究開発センター
- 3) 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
- 4) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 5) 東京都福祉保健局健康安全研究センター
- 6) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 7) 東北医科薬科大学・薬学部
- 8) 熊本大学病院総合臨床研究部
- 9) National Cancer Institute/NIH

■日時：11月28日(木) 18:40～19:30

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 034 情報提供・性行動

座長 井上洋士

(国立がん研究センター がん対策情報センター)

松浦基夫

(堺市立総合医療センター 腎代謝免疫内科)

034-146 ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」を用いた HIV 検査相談情報の提供とサイト利用状況の解析

佐野貴子<sup>1)</sup>、近藤真規子<sup>1)</sup>、土屋菜歩<sup>2)</sup>、  
須藤弘二<sup>3)</sup>、星野慎二<sup>4)</sup>、井戸田一朗<sup>5)</sup>、  
清水茂徳<sup>6)</sup>、生島 嗣<sup>7)</sup>、岩橋恒太<sup>8)</sup>、  
今井光信<sup>9)</sup>、加藤真吾<sup>3)</sup>、市川誠一<sup>10)</sup>、  
白阪琢磨<sup>11)</sup>、今村顕史<sup>12)</sup>

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 3) 株式会社ハナ・メディテック
- 4) 特定非営利活動法人 SHIP
- 5) しらかば診療所
- 6) 東日本国際大学
- 7) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 8) 特定非営利活動法人 akta
- 9) 田園調布学園大学
- 10) 金城学院大学
- 11) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 12) 東京都立駒込病院

034-147 MSM を対象とする、2018 年の A 型肝炎の拡大の注意喚起に関する効果評価調査

岩橋恒太<sup>1)</sup>、金子典代<sup>2)</sup>、荒木 順<sup>1)</sup>、  
木南拓也<sup>1)</sup>、鈴木敦大<sup>1)</sup>、堅多敦子<sup>3)</sup>、  
今村顕史<sup>3)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人 akta
- 2) 名古屋市立大学看護学部
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院

034-148 MSM における A 型肝炎流行への対策と効果についての検討

今村顕史<sup>1)</sup>、堅多敦子<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>2)</sup>、  
荒木 順<sup>2)</sup>、金子典代<sup>3)</sup>、生島 嗣<sup>4)</sup>、  
西浦 博<sup>5)</sup>、齋藤涼平<sup>5)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- 4) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 5) 北海道大学大学院医学研究院

034-149 日本の就労成人男性における HIV/ エイズおよび性感染症関連意識と行動に関するアンケート調査

土屋菜歩<sup>1)</sup>、日高庸晴<sup>2)</sup>、大北全俊<sup>3)</sup>、  
渡會睦子<sup>4)</sup>、今村顕史<sup>5)</sup>

- 1) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 2) 宝塚大学看護学部
- 3) 東北大学医学系研究科医療倫理学分野
- 4) 東京医療保健大学医療保健学部
- 5) がん・感染症センター都立駒込病院

034-150 セックスワーカーにおけるセクシュアルヘルスに関する現状

宮階真紀<sup>1,2)</sup>、塩野徳史<sup>2,3)</sup>、要友紀子<sup>1)</sup>、  
宮田りりい<sup>1,2,4)</sup>、松下修三<sup>5)</sup>

- 1) SWASH
- 2) MASH 大阪
- 3) 大阪青山大学
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 熊本大学

■日時：11月29日(金) 9:00～9:40

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 035 服薬アドヒアランス

座長 吉野宗宏

(国立病院機構宇多野病院 薬剤部)

嶺 豊春

(長崎大学病院 薬剤部)

035-151 月 1 回の注射剤に関するアンケートを用いた毎日の服薬に対するストレスの調査

笠松 悠<sup>1,2)</sup>、小西啓司<sup>2)</sup>、麻岡大裕<sup>2)</sup>、  
中河秀憲<sup>2)</sup>、白野倫徳<sup>2)</sup>、後藤哲志<sup>2)</sup>、  
市田裕之<sup>3)</sup>、藤田直久<sup>1)</sup>

- 1) 京都府立医科大学 感染症科
- 2) 大阪市立総合医療センター 感染症内科
- 3) 大阪市立総合医療センター 薬剤部

035-152 患者アンケートによるお薬手帳認識調査及び薬局における抗 HIV 用薬調剤時の副作用確認とお薬手帳活用の問題点

井上正朝<sup>1)</sup>、眞鍋貫行<sup>2)</sup>、三嶋一登<sup>1)</sup>、  
福土将秀<sup>1)</sup>、田崎嘉一<sup>1,2)</sup>

- 1) 旭川医科大学病院薬剤部
- 2) 旭川医科大学病院臨床研究支援センター

035-153 HIV 感染症治療における院外処方移行促進のための病院 - 保険薬局間での情報共有に対する取り組み

松井綾香<sup>1)</sup>、野村直幸<sup>1)</sup>、村上由佳<sup>1)</sup>、藤原千尋<sup>1)</sup>、飯塚暁子<sup>1)</sup>、木梨貴博<sup>1)</sup>、門田悦子<sup>1)</sup>、齋藤誠司<sup>1)</sup>、坂田達朗<sup>1)</sup>、和田秀穂<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構 福山医療センター エイズ治療センター  
2) 川崎医科大学病院 血液内科

035-154 山梨県における HIV 患者の院外処方化の試み

Aiju Endo, Taiki Ishibe, Yongching Kim, Kazumi Hanawa, Yoshifumi Kobayashi, Seiichi Yamamoto

山梨県立中央病院

■日時：11月29日（金）9:00～9:50

■会場：第5会場

（熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2）

## 036 医療体制・連携

座長 横幕能行

（国立病院機構 名古屋医療センター）

池田和子

（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

036-155 ACC 救済医療室が行った病病連携における薬害 HIV 感染者と紹介元医療者の満足度調査

大杉福子<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、阿部直美<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、久地位寿哉<sup>2)</sup>、岩野友里<sup>2)</sup>、柿沼章子<sup>2)</sup>、大平勝美<sup>2)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、藤谷順子<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター  
2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団  
3) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院リハビリテーション科

036-156 二次医療圏から考えるエイズ診療拠点病院の配置

今橋真弓<sup>1,2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、伊藤俊広<sup>3)</sup>、山本政弘<sup>4)</sup>、内藤俊夫<sup>5)</sup>、遠藤知之<sup>6)</sup>、茂呂 寛<sup>7)</sup>、渡邊珠代<sup>8)</sup>、渡邊 大<sup>9)</sup>、藤井輝久<sup>10)</sup>、宇佐美雄司<sup>1)</sup>、池田和子<sup>2)</sup>、吉野宗宏<sup>11)</sup>、本田美和子<sup>12)</sup>、葛田衣重<sup>13)</sup>、三木浩司<sup>14)</sup>、四柳 宏<sup>15)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>

1) 名古屋医療センター  
2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター  
3) 仙台医療センター 感染症内科  
4) 九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター  
5) 順天堂大学医学部総合診療科研究室  
6) 北海道大学大学院医学研究科 血液内科学教室  
7) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部  
8) 石川県立中央病院 免疫感染症科  
9) 大阪医療センター 臨床研究センターエイズ先端医療研究部  
10) 広島大学病院 輸血部  
11) 宇田野病院 薬剤部  
12) 東京医療センター 総合内科  
13) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部  
14) 小倉記念病院 緩和ケア・精神科  
15) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター

036-157 本邦における HIV 感染者・AIDS 発症者数の動向と ART の医療経済的解析

Kazumi Omata, Yoshimi Kikuchi, Shin-ichi Oka, Hiroaki Mitsuya

国立国際医療研究センター

036-158 感染防止対策加算を算定している病院で HIV 感染者を診療できるか

谷口俊文<sup>1)</sup>、高柳 晋<sup>1)</sup>、築地茉莉子<sup>2)</sup>、葛田衣重<sup>3)</sup>、鈴木明子<sup>4)</sup>、猪狩英俊<sup>1)</sup>

1) 千葉大学医学部附属病院感染症内科  
2) 千葉大学医学部附属病院薬剤部  
3) 千葉大学医学部附属病院地域医療連携部  
4) 城西国際大学看護学部

036-159 当院における HIV 診療体制と外来通院患者における相談事項について

石原正志<sup>1,2)</sup>、杉山仁美<sup>3)</sup>、松井完二<sup>4)</sup>、山口公大<sup>5)</sup>、生駒良和<sup>5)</sup>、鈴木昭夫<sup>2)</sup>、鶴見 寿<sup>5,6)</sup>

1) 岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進センター  
2) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部  
3) 岐阜大学医学部附属病院看護部  
4) 岐阜大学医学部附属病院医療支援課  
5) 岐阜大学医学部附属病院血液内科  
6) 松波総合病院血液内科

■日時：11月29日(金) 9:00～10:00

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 037 症例報告

座長 宮川寿一

(公立玉名中央病院 感染症内科)

藤井輝久

(広島大学 病院輸血部 輸血部)

037-160 非定型抗酸菌症とニューモシスティス肺炎が合併し重篤な肺障害を呈した AIDS の一例

池田 博<sup>1)</sup>、稗田広美<sup>2)</sup>、宮越郁子<sup>2)</sup>、  
又村了輔<sup>3)</sup>、國本雄介<sup>3)</sup>、種村理恵子<sup>4)</sup>、  
五十嵐友彦<sup>4)</sup>、小船雅義<sup>1)</sup>

1) 札幌医科大学血液内科

2) 札幌医科大学付属病院看護部

3) 札幌医科大学付属病院薬剤部

4) 札幌医科大学歯科口腔外科

037-161 膀胱直腸障害を主訴に来院しサイトメガロウイルス脊髄炎・神経根炎と診断した 1 例

福岡里紗、中河秀憲、中川裕太、森田 諒、  
山根和彦、小西啓司、麻岡大裕、白野倫徳、  
後藤哲志

大阪市立総合医療センター感染症内科

037-162 抗 HIV 療法開始に伴い refeeding edema を呈した一例

高嶋英樹、阿部公俊、中尾安秀

医療法人財団明理会新松戸中央総合病院

037-163 治療に難渋した HIV 合併重症潰瘍性大腸炎の 1 例

中島由紀子

川崎市立井田病院

037-164 難治性潰瘍性大腸炎の治療経過中に HIV 感染症を合併し、寛解に至った症例

藤城 綾、田代晴加、雑賀 渉、寺本由加子、  
浅井 愛、岩佐磨佐紀、西村理恵、河原真大、  
南口仁志、木藤克之、安藤 朗

滋賀医科大学血液内科

037-165 胃十二指腸梅毒による多発潰瘍でショック状態を呈した HIV 感染例

中本貴人<sup>1)</sup>、泉 敦子<sup>2)</sup>、柳川泰昭<sup>1)</sup>、  
安藤尚克<sup>1)</sup>、塩尻大輔<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、  
水島大輔<sup>1)</sup>、西島 健<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、  
渡辺恒二<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、  
塚田訓久<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、  
秋山純一<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

2) 国立国際医療研究センター 消化器内科

■日時：11月29日(金) 9:40～10:20

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

## 038 臨床薬理

座長 増田純一

(国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

土屋亮人

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

038-166 HIV 患者におけるラルテグラビル 1200mg 1日1回服用の血漿中濃度についての検討

土屋亮人<sup>1)</sup>、林田庸総<sup>1)</sup>、濱田哲暢<sup>2,3)</sup>、  
菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1,4)</sup>、瀧永博之<sup>1,4)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

2) 国立がん研究センター研究所 臨床薬理研究分野

3) 熊本大学大学院医学教育部 腫瘍治療・トランスレーショナルリサーチ学分野

4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

038-167 ラルテグラビルカリウムの投与方法間におけるトラフ血漿中濃度の比較検討

櫛田宏幸<sup>1)</sup>、中内崇夫<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>1)</sup>、  
榊田智仁<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、  
渡辺 大<sup>2)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、  
白阪琢磨<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部

2) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

038-168 テノホビルアラフェナミド投与時のテノホビル血漿トラフ濃度に関する検討

矢倉裕輝<sup>1)</sup>、中内崇夫<sup>1)</sup>、櫛田宏幸<sup>1)</sup>、  
榊田智仁<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、  
渡辺 大<sup>2)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、  
白阪琢磨<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部

2) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

## 038-169 Raltegravir の用法用量変更に伴う血中濃度推移と UGT1A1 遺伝子多型との関連性の検討

神尾咲留未<sup>1)</sup>、阿部憲介<sup>1)</sup>、近藤 旭<sup>1)</sup>、  
後藤達也<sup>1)</sup>、真山晃史<sup>2)</sup>、鈴木美絵子<sup>3)</sup>、  
佐々木晃子<sup>3)</sup>、今村淳治<sup>3)</sup>、伊藤俊広<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構仙台医療センター 薬剤部  
2) 国立病院機構仙台医療センター 検査科  
3) 国立病院機構仙台医療センター 感染症内科

■日時：11月29日(金) 9:50～10:30

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

## 039 医療者教育・支援

座長 高田清式

(愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研究センター)

宮城京子

(琉球大学医学部附属病院)

## 039-170 医療従事者の HIV 感染者受け入れへの不安 —HIV 出張研修アンケートからの検討—

中川雄真、川口 玲、内山正子、井越由美枝、  
野田順子、三枝祐美、茂呂 寛

新潟大学医学部総合病院

## 039-171 HIV 医療チーム対象の症例検討型多職種包括的研修会の効果についての検討

喜花伸子<sup>1,2)</sup>、杉本悠貴恵<sup>1,2)</sup>、内野悌司<sup>3)</sup>、  
畝井浩子<sup>4)</sup>、村上英子<sup>1,2)</sup>、宮原明美<sup>5)</sup>、  
池田有里<sup>5)</sup>、山崎尚也<sup>2)</sup>、高田 昇<sup>6)</sup>、  
藤井輝久<sup>1,2)</sup>

1) 広島大学病院エイズ医療対策室  
2) 広島大学病院輸血部  
3) 広島修道大学健康科学部  
4) 広島大学病院薬剤部  
5) 広島大学病院看護部  
6) おだ内科クリニック

## 039-172 HIV 診療拠点病院における初期臨床研修中における HIV 患者診療・教育の状況～アンケート調査～

Ikai Hiroki<sup>1)</sup>、宮本愛梨沙<sup>2)</sup>、那波みゆき<sup>2)</sup>、  
宇高 歩<sup>2)</sup>、石坂敏彦<sup>2)</sup>、西田幸司<sup>2)</sup>、  
松浦基夫<sup>2)</sup>

1) 中部ろうさい病院 リウマチ膠原病・腎感染症科  
2) 堺市立総合医療センター

## 039-173 大阪府内における精神科診療機関の HIV 陽性者の受診および受け入れ体制

金井講治<sup>1)</sup>、長瀬亜岐<sup>2)</sup>、池田 学<sup>1)</sup>

1) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室  
2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究所行動神経学・神経精神医学寄附講座

■日時：11月29日(金) 10:00～10:50

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

## 040 肝炎

座長 四柳 宏

(東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科)

萩原 剛

(東京医科大学臨床検査医学分野)

## 040-174 MSM における A 型肝炎ワクチン接種後の抗体価推移の検討

上村 悠、水島大輔、高野 操、塩尻大輔、  
安藤尚克、柳川泰昭、西島 健、青木孝弘、  
渡辺恒二、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、  
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター

## 040-175 HIV 感染者における A 型肝炎ワクチン (エイムゲン) の効果の検討

古賀道子<sup>1)</sup>、堤 武也<sup>1)</sup>、千光寺智恵<sup>1)</sup>、  
久保田めぐみ<sup>1)</sup>、安達英輔<sup>2)</sup>、菊地 正<sup>2)</sup>、  
林 阿英<sup>2)</sup>、津田春香<sup>1)</sup>、池内和彦<sup>1)</sup>、  
奥新和也<sup>3)</sup>、鯉淵智彦<sup>2)</sup>、四柳 宏<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所感染症分野  
2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科  
3) 東京大学医学部附属病院 感染制御部

## 040-176 HIV 合併もしくは非合併血友病患者における C 型慢性肝炎に対する IFN フリー DAA の治療成績

萩原 剛、宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、  
近澤悠志、備後真登、関谷綾子、村松 崇、  
横田和久、四本美保子、金子 誠、天野景裕、  
福武勝幸、木内 英

東京医科大学臨床検査医学分野

## 040-177 2018年度血液凝固異常症全国調査によるHIV感染血液凝固異常症におけるC型肝炎の状況について

立浪 忍<sup>1)</sup>、天野影裕<sup>2)</sup>、白幡 聡<sup>3)</sup>、  
大平勝美<sup>4)</sup>、花井十伍<sup>5)</sup>、杉山真一<sup>6)</sup>、  
桑原理恵<sup>7)</sup>、秋田美恵子<sup>1)</sup>、瀧 正志<sup>8)</sup>

- 1) 聖マリアンナ医科大学 小児科
- 2) 東京医大臨床検査医学
- 3) 北九州八幡東病院
- 4) はばたき福祉事業団
- 5) ネットワーク医療と人権
- 6) 原後綜合法律事務所
- 7) 聖マリアンナ医大臨床研究データセンター
- 8) 聖マリアンナ医大横浜市西部病院小児科

## 040-178 HIV/HBV 共感染例の長期経過

村松 崇、宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、  
近澤悠志、備後真登、関谷綾子、横田和久、  
四本美保子、萩原 剛、天野景裕、福武勝幸、  
木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科